

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

CLIPPEDIMAGE= JP408038323A

PAT-NO: JP408038323A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08038323 A

TITLE: SUPPORTING BOARD FOR GARDENING POT

PUBN-DATE: February 13, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MIYANISHI, TOSHIHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SHINSEI HATSUJO KOGYO KK

N/A

APPL-NO: JP06177790

APPL-DATE: July 29, 1994

INT-CL (IPC): A47G007/02;A01G009/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a supporting board for gardening pot which makes a function

as the interior of an ornamental plant prominent, and capable of manufacturing

with a low cost when the gardening pot planted with the ornamental plant is installed in a room, etc.

CONSTITUTION: This circular supporting board main body 1 is made of a spiral spring capable of being held by inserting the gardening pot 2 into its one

terminal side 1a side and so that the other terminal side 1b can stand on its own leg.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-38323

(43) 公開日 平成8年(1996)2月13日

(51) Int.Cl.*	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 G 7/02	A			
A 0 1 G 9/00	B	9318-2B		

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全6頁)

(21) 出願番号 特願平6-177790

(22) 出願日 平成6年(1994)7月29日

(71) 出願人 393018886

新生発条工業株式会社

大阪市福島区大開1丁目19番17号

(72) 発明者 宮西 俊廣

大阪府大阪市福島区大開1丁目19番17号

新生発条工業株式会社内

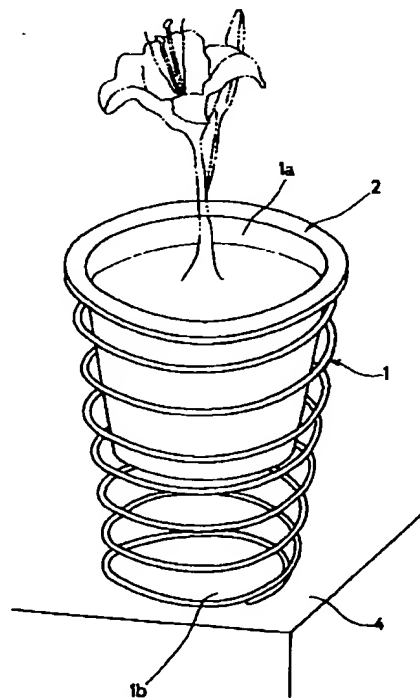
(74) 代理人 弁理士 藤本 昇

(54) 【発明の名称】 園芸鉢用支持台

(57) 【要約】

【目的】 鑑賞用植物が植えられた園芸鉢を室内等に設置する場合、従来では合成樹脂製の受皿等を敷くだけで何ら工夫がされていなかった点に鑑み、観賞植物のインテリアとしての機能を一層際立たせ、且つ低コストで製造可能な園芸鉢用支持台を提供することを目的とする。

【構成】 支持台本体1が、一端側1aに園芸鉢2を挿入して保持し得る螺旋状の発条体からなり且つ他端側1bが自立可能に構成されてなる園芸鉢用支持台。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 支持台本体(1)が、一端側(1a)に園芸鉢(2)を挿入して保持し得る螺旋状の発条体からなり且つ他端側(1b)が自立可能に構成されてなることを特徴とする園芸鉢用支持台。

【請求項2】 前記支持台本体(1)の一端側(1a)には、園芸鉢(2)を載置可能な受皿(6)が着脱可能に設けられてなる請求項1記載の園芸鉢用支持台。

【請求項3】 前記支持台本体(1)の他端側(1b)には、該支持台本体(1)の自立状態を維持すべく前記被載置部(4)に係止可能な支持具(7)が設けられてなる請求項1又は2記載の園芸鉢用支持台。

【請求項4】 前記支持具(7)が、板材(8)の上面に設けられた断面逆Ω形状の把持部(9)と前記板材(8)の下面に取着された吸着盤(10)とからなり、前記支持具(7)が、前記把持部(9)を介して前記支持台本体(1)の他端側(1b)に着脱自在に取付けられてなる請求項3記載の園芸鉢用支持台。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えば蘭・チューリップ等の鉢花、サボテン・ゴム等の観葉植物等の観賞植物が植えられた園芸鉢を保持する園芸鉢用支持台に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、鉢植え観賞植物は、適当な大きさの園芸鉢にその植物を植え、その園芸鉢をプラスチック製の皿の上に載置しているだけであった。この皿は、園芸鉢の台としてその下部から漏出する水や用土等を受けるために敷かれているものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、観賞植物は部屋等のインテリアとして美観を起こさせるために設置するものである。従って、観賞植物及び園芸鉢に関しては、より好ましい美観を生ずるよう種々の改良・工夫が成されているが、それを設置する段階に於いて、その台には何ら工夫されていないのが現状である。即ち、観賞植物の鉢植えを設置する場合、上述のように単に皿の上に置くだけであり、このため全体的な美観を損ね、又何ら面白みもなく、結局インテリアとしての価値が減殺される。

【0004】しかしながら、豪華な装飾を施した台を用いたのでは、商品の製造コストが跳ね上がり、逆に商品として流通し難いという問題点がある。

【0005】本発明は、上記の如き従来の問題点に鑑みてなされたもので、観賞植物のインテリアとしての機能を一層際立たせ、且つ低コストで製造可能な園芸鉢用支持台を提供することを課題とする。

【0006】

【問題を解決するための手段】本発明は、このような課

2

題を解決するためになされたもので、その課題を解決するための手段として、本発明者は、園芸鉢の支持台として発条体を利用するという着想をした。即ち、支持台本体1が、一端側1aに園芸鉢2を挿入して保持し得る螺旋状の発条体からなり且つ他端側1bが自立可能に構成されてなることにある。

【0007】さらに、請求項2記載の手段は、前記支持台本体1の一端側1aに、園芸鉢2を載置可能な受皿6が着脱可能に設けられてなることにある。

【0008】また、請求項3記載の手段は、前記支持台本体1の他端側1bに、該支持台本体1の自立状態を維持すべく前記被載置部4に係止可能な支持具7が設けられてなることにある。

【0009】

【作用】従って、上記構成を特徴とする園芸鉢園芸鉢用支持台にあっては、例えば支持台本体1の他端側1bを机等の被載置部の上に載置して自立させた状態でその一端側1aに園芸鉢2を挿入し保持して使用されるが、かかる支持台本体1は弾性を有する発条体からなるために園芸鉢2等に外力が加わると、該園芸鉢2が上下左右に揺動することになる。

【0010】さらに、請求項2記載のように支持台本体1の一端側1aに着脱可能な受皿6を設けた場合は、その受皿6に園芸鉢2を載置して該園芸鉢2の下部に穿設された孔から漏出する水や用土等を受皿6で受け止めることができる。

【0011】また、請求項3記載のように支持台本体1の他端側1bに被載置部4に係止可能な支持具7を設けると、支持台本体1の自立状態を確実に維持できることができ、不用意に支持台本体1が転倒することなく園芸鉢2を保持できるのである。

【0012】

【実施例】以下、本発明の一実施例を図面に従って説明する。図1に於いて、1は金属製の硬線が一端側1a側程大径となるように形成された螺旋状の発条体からなる支持台本体を示し、該支持台本体1は他端側1bを被載置部に載置することにより自立でき、且つその一端側1aは、園芸鉢2が挿入して保持できるように構成されている。尚、支持台本体1には装飾として金色のメッキが施されている。

【0013】上記構成からなる園芸鉢用支持台を使用する場合は、例えば図2に示すように、支持台本体1の一端側1aに園芸鉢2を挿入し、その他端側1bを机等の任意の被載置部4の上に載置する。

【0014】そして、支持台本体1は弾性を有する発条体からなるため、園芸鉢2や支持台本体1に外力等が加わると該園芸鉢2が上下左右に適度に揺動することとなり、よって従来では予想もできなかった鉢植えの観賞植物に動的効果を付与することができる。

【0015】さらに、従来何ら注目されていなかった園

20

30

40

50

3

芸鉢の台に金色の発条体を用いることにより意匠的效果が生じ、観賞植物のインテリアとしての機能を一層引き立たせることができる。しかも、支持台本体1は発条体からなるので非常に安価に製造でき、その取扱いも単に鉢植えを挿入するだけで支持台本体1に取付けることができ極めて簡単であり、更に壊れにくいという利点がある。

【0016】また、かかる支持台本体1は、図3に示すように上下反対にして使用することも可能であり、小径の他端側1bを上側にして園芸鉢2を挿入し、且つ大径の一端側1aを下側にして使用すれば一つの園芸鉢用支持台で大きさの異なる園芸鉢2を保持することができる。尚、このように大径の一端側1aを下側にして使用すると支持台本体1を一層安定した状態で自立させることができるという利点がある。

【0017】さらに、図4に示すように前記支持台本体1の一端側1aに予め園芸鉢の受皿6を着脱自在に設けてもよく、受皿6により、園芸鉢2の下部に穿設された孔から漏出する水や用土等を受け止めることができ被載置部を汚すこともない。

【0018】また、支持台本体1の自立状態を維持すべく、その他端側1bに被載置部4に係止可能な支持具7を設けてもよい。かかる支持具7は、図5に示すように、板材8の上面に断面逆Ω形状の把持部9が設けられ、且つ下面に吸着盤10が取着されたものであり、図4に示すように前記把持部9を介して支持台本体1の他端側1bに2つ外嵌着されている。

【0019】そして、吸着盤10を被載置部4に吸着させれば、支持台本体1が被載置部4に確実に固定されるため、支持台本体1が揺動してもその自立状態が維持されて不用意に転倒することがなく、従って園芸鉢2を倒壊させることもない。尚、前記支持具7では、吸着盤10を用いたが、必ずしも吸着盤10に限定されず、例えば図6に示すように磁石11等を吸着盤10に代えて前記板材8の下面に取着してもよい。また、被載置部4が、例えば絨毯等であるような場合は、前記吸着盤10に代えて図7に示すような剣山の如き複数の突状体12を設けてもよいし、更に図8に示すような複数のフック状の鉤止部材13等を設けてもよい。

【0020】上記実施例に於いて、支持台本体1の形状は螺旋状の略円錐台形に形成されているが、支持台本体1の形状は必ずしもこれに限定されるものではなく、図9に示すように略中央1cの螺旋が大径な略樽形状、図10に示すような略中央1cの螺旋が小径な略鼓形状等であってもよい。支持台本体1が、図10に示すような略鼓形状であれば略中央1cが一端側1a及び他端側1bに比して小径であるため、揺動し易いするという効果がある。

【0021】また、上記実施例に於いて、支持台本体1を形成する硬線の線径は任意であるが、その線径が細ければ当然揺動し易いが、園芸鉢を保持するには安定性に

4

欠ける場合がある。そこで、例えば支持台本体1の略中央1cのみ硬線の線径を細くすれば、その部分で揺動し易くなり、且つ園芸鉢は確実に保持される。

【0022】さらに、上記実施例に於いて、支持台本体1は金色のメッキを施して成るが、必ずしも、金色に限定されず種々の色彩を施すことが可能である。その他の方法として、色付きビニール等で硬線を被覆してもよい。また、上記実施例に於いて、支持具7はその把持部9によって前記他端側1bに着脱自在に外嵌着される構成であるが、必ずしも着脱自在な構成に限定されず、予め前記他端側1bに支持具7が固着された構成であってもよい。

【0023】

【発明の効果】叙上のように、本発明に係る園芸鉢用支持台に発条体を用いることにより、従来では奏し得なかった以下のような効果が得られる。即ち、支持台本体に保持された園芸鉢は、支持台本体の弾力性により適度に揺動するため、恰も園芸鉢に植えられた観賞植物自体が動いているかの如く、非常に面白みがある。さらに、園芸鉢が発条体にて保持されるという斬新性があり、意匠的效果を生ずる。また、前記のような効果を奏するにも拘らず、園芸鉢用支持台は発条体からなるので非常に安価に製造することが可能であり、しかも壊れ難くその取扱いも極めて容易である。

【0024】さらに、請求項2記載の手段のように、支持台本体の一端側に受皿を設けると、該受皿により保持される園芸鉢の孔から漏出する水や用土等が受け止められるために設置場所を汚すこともない。

【0025】また、請求項3記載の手段のように、支持台本体の他端側に被載置部に係止可能な支持具を設けると、支持台本体が安定して自立状態が良好に維持されるため、支持台本体が激しく揺動しても不用意に転倒することなく、よって保持された園芸鉢が倒壊するようなこともなくなるのである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に於ける園芸鉢用支持台の一実施例を示す斜視図。

【図2】本発明に於ける園芸鉢用支持台に園芸鉢を挿入した状態の一実施例を示す斜視図。

【図3】本発明に於ける園芸鉢用支持台に園芸鉢を挿入した状態の他実施例を示す斜視図。

【図4】本発明に於ける園芸鉢用支持台に受皿を設けた一実施例を示す斜視図。

【図5】支持具の一実施例を示す斜視図。

【図6】支持具の他実施例を示す斜視図。

【図7】支持具の他実施例を示す斜視図。

【図8】支持具の他実施例を示す斜視図。

【図9】本発明に於ける園芸鉢用支持台の他実施例を示す斜視図。

【図10】本発明に於ける園芸鉢用支持台の他実施例を

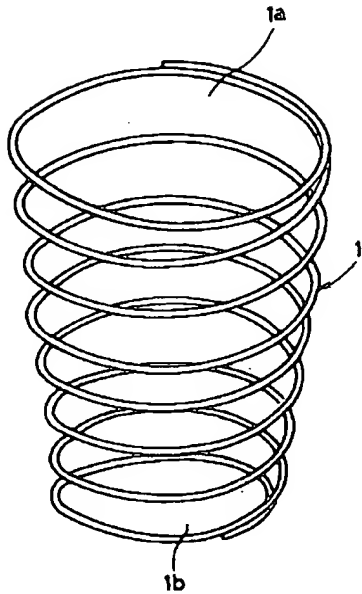
示す斜視図。

【符号の説明】

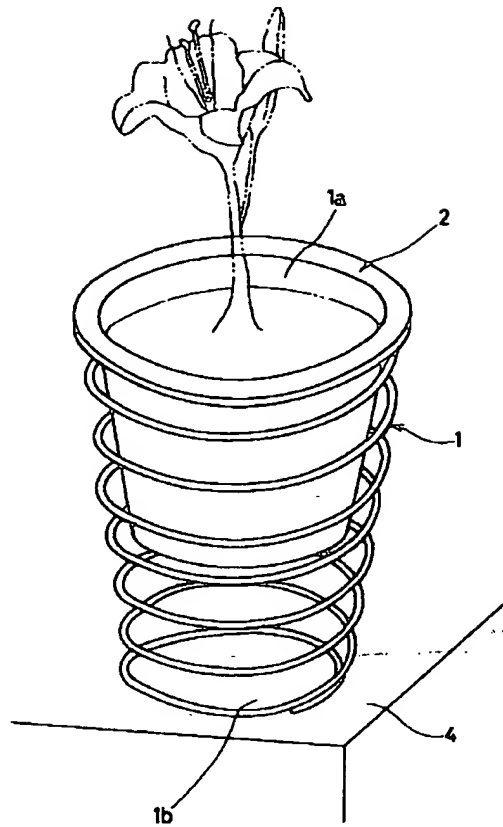
1…支持台本体、1a…一端側、1b…他端側、2…園芸

鉢、6…受皿、7…支持具、8…板材、9…把持部、10…吸着盤。

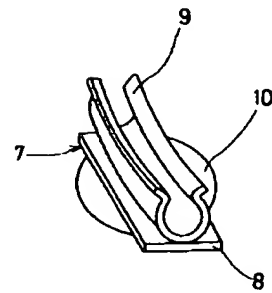
【図1】



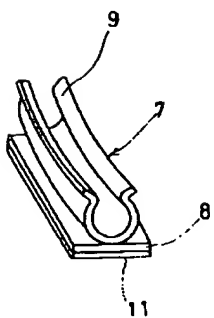
【図2】



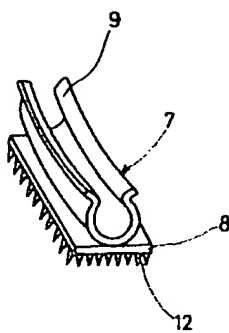
【図5】



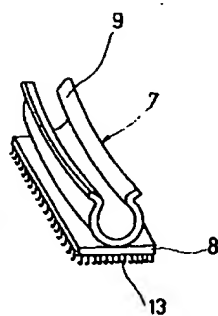
【図6】



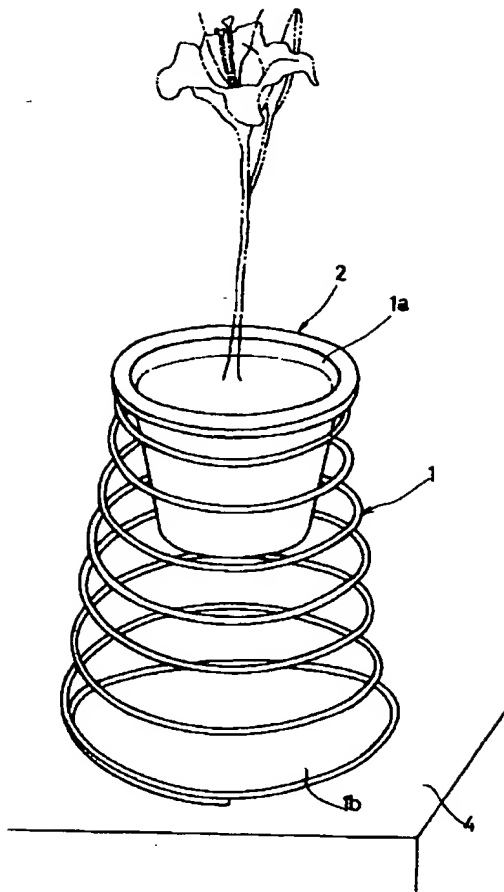
【図7】



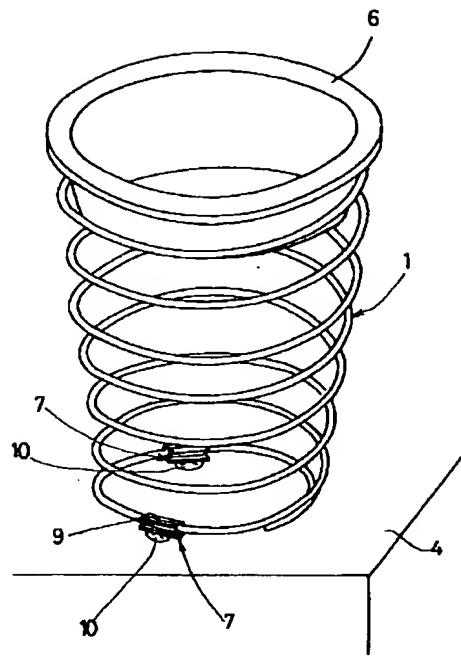
【図8】



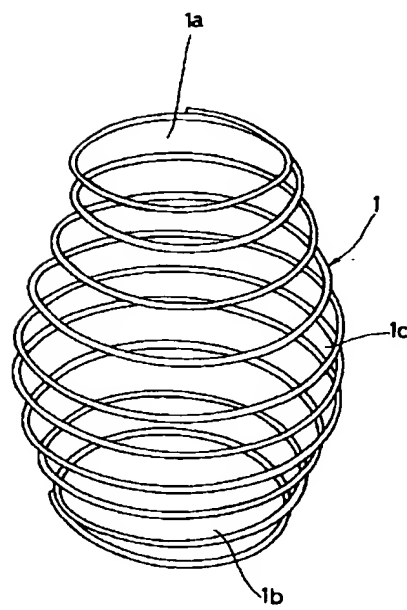
【図3】



【図4】



【図9】



【図10】

